

# 3年ぶりのおぢばの夏 立教185年 サマースクール静岡開催



第636号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333

FAX (054) 628-4615

Email: skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



今年も夏のこともおぢばがえりが中止となりましたが、しかし、少年ひのきしん隊本部練成会が、三年振りに開催をされました。今年にはコロナウイルスの影響から、第一次隊から四次隊に分けての一泊二日となり、静岡教区は第一次隊の、七月三十日から三十一日までの日程となりました。そこで、一泊二日では短いということ、教区長先生の思いから、その前後の二十九日・八月一日に、サマースクール静岡を開催させていただきました。

今年も夏のこともおぢばがえりが中止となりましたが、しかし、少年ひのきしん隊本部練成会が、三年振りに開催をされました。今年にはコロナウイルスの影響から、第一次隊から四次隊に分けての一泊二日となり、静岡教区は第一次隊の、七月三十日から三十一日までの日程となりました。そこで、一泊二日では短いということ、教区長先生の思いから、その前後の二十九日・八月一日に、サマースクール静岡を開催させていただきました。

今年も夏のこともおぢばがえりが中止となりましたが、しかし、少年ひのきしん隊本部練成会が、三年振りに開催をされました。今年にはコロナウイルスの影響から、第一次隊から四次隊に分けての一泊二日となり、静岡教区は第一次隊の、七月三十日から三十一日までの日程となりました。そこで、一泊二日では短いということ、教区長先生の思いから、その前後の二十九日・八月一日に、サマースクール静岡を開催させていただきました。

守護をお与えいただくことができました。少年ひのきしん隊の子供達は、連日の猛暑に負けることなく、ひのきしんをはじめ、仕込み伏せ込み行事やお楽しみ行事に参加をして、隊員のみならず、おぢばながら仲良く過ごしてくれました。そして、親神様のお膝元で貴重な経験をして、おぢばで夏の楽しい思い出と共に、大きく育てていただけたと思います。期間中コロナウイルスの影響と、連日猛暑日が続きましたので不安と心配がありましたがお蔭様で、本部練成会とサマースクール静岡を、親神様・教祖の導きお守りをいただき、大きな事故もなく無事にお連れ通りをいただくことができました。



静岡教区団团长  
村田 孝浩

## 参加者

支部	氏名	学年	所属
東伊豆	佐久間廉	中3	稲取
駿豆	芹澤直己	中3	嶽東
	長嶋幹央	中1	伊豆中央
	芹澤美穂	中2	嶽東
富士	篠原 匠	中1	吉原
	鈴木陽菜	中3	嶽伸
東駿	松本柚葵	中2	吉添
	池田妃奈	中3	吉添
	新貝ことり	中2	東戸倉
	安田莉々	中2	東戸倉
	澤口百花	中2	東戸倉
	草ヶ谷美海	中2	東戸倉
中駿東	大谷虎治朗	中1	愛畠
	大谷かのん	中1	愛駿
中駿西	木村潤夢	中3	駿一廣
	山崎光博	中1	甲駿
西駿	塚本礼人	中3	金谷
	塚本百香	中2	金谷
	大橋侑加	中2	金谷
中遠	中山 隼	中3	浮穴
	中山正吉	中2	浮穴
	寺田小里	中3	内田
	西尾優李	中1	月見里
西遠	小田木陽大	中3	龍都
	太田奏音	中3	袖ヶ浦
	長田龍善	中2	濱都
	山田葉月	中2	東隆
	鈴木とよの	中1	濱東
	鈴木しの	中1	濱東
カウンセラー			
駿豆	太田将道	委員	碧空
	新村亮太	大3	三嶋
東駿	新貝あかり	大4	東戸倉
	鈴木 椿	高1	御門台
西駿	鈴木美来	高3	濱東
	小田木結菜	高2	龍都
北遠	伊藤正人	高3	鮎ヶ瀬



## サマースクール静岡 充実した四日間を過ごす

今年のサマースクールは、コロナ禍の中、三年ぶりの開催で、こどもおちばがえりの開催されない例年とは違う形で、しかも期間も短い開催となったが、参加した隊員の笑顔は例年と同じくらいおちばで溢れかえっていた。

静岡教区団としては、七月二十九日、東部の嶽東大教会を出発し、中部の教務支庁、西部の山名大教会と順に参加者を乗せおちばへ。一同、嶽東詰所に集り、神殿参拝の後、隊服合わせ、夕食の後、六階大広間にて結隊式を行ない、教区長先生よりご挨拶、オリエンテーションなどを行い、入浴、就寝。

翌日七月三十日から三十一日にかけて本部練成会に参加させて頂いた。

初日は、神殿案内や記念建物の見学を通しておやしき内の勉強をさせてもらい、午後は少年会本部の行事に参加させてもらうなどで、隊員の仲を深め合った。二日目には、各礼拝場基壇の掃除や、境内地除草ひのきしんなどみんなで汗を流した。又、スケジュールの中には、班別タイムという時間が設けられ、隊員がお互いに意見や知恵を出し合い、助け合っ

て班旗の作成やちぎり絵を作成するなどをして時間を過ごした。

初日の入隊式で、少年会本部・西田伊作委員長は挨拶で、今年本部練成会が開催できた事を、涙を流しながら喜んでいた姿がとても印象的だった。そうし

た親の思いもあり、一人も体調を崩すことなくつとめられた事は大変有難かった。

又、本部練成会から詰所に戻った後は、教区行事として教区学生担当委員会が企画した室内オリンピックや、その後のバーベキュー大会も大変盛り上がり、隊員はもちろん、カウンセラーも共々に楽しんだ。

翌八月一日には教区団の退団式では別れを惜しみ、涙を流す隊員もいて、最後、お別れ

前にはそれぞれの隊員Tシャツに寄せ書きをし合い、来年も参加しようと呼びかけ合う姿も見られた。

この期間中は、少年会本部はもちろん、教区少年会の入念な準備の甲斐もあって大きな事故もなく無事につとめられた。三泊四日という例年よりは短い期間だったが、ほとんどの隊員が初めての参加という事もあり、みんなが新鮮な気持ちで、最高の時間を過ごすことができた。



# 新任・教会長に就任して

中駿東支部  
静岡大教会部属  
静葵分教会五代会長  
木村 千鶴



立教百八十五年六月二十六日にお運びをさせて頂き静葵分教会の五代会長就任となりました。前会長である母親は、まだ元気で教会長として十分にとめさせて頂いておりました。では、なぜ今この時に会長を交代したのかと申しますと、今年六月は静岡大教会百三十周年の記念の年月でありまして、こういった時旬に新しい事をすする。つまり時旬の理を頂けるこういった時に

会長交代すれば、大きな力強い芽が出てくるのではないかと、心定めをいたしました。向日葵の種を冬に蒔いても育ちません。このようなありがたい時旬に、静葵の種を蒔けることに感謝しています。私達には教祖のひながたという道があり、心には不安や不足がある時、「あゝ教祖ならどうされたかな」と考えることができます。東本大教会初代会長の中川よし先生は、婦人会第一回総会後の講演会で「教祖は・・・」と語らず、号泣されたそうです。そして参加者の皆様も皆泣いておられたということです。これは、教祖のありがたさ、ひながたを歩んできたからこそその涙ではないでしょうか。

「難しいことや、することはない。通れない道は教えていない」五十年の間、教祖に歩いて頂いた道、ひながたの道。しっかりと見直して、少しでも近づけるよう歩いていきたいと思えます。教会とは、心の皺（しわ）ほこりをとらせて頂く場所と聞いております。教祖のいのする教会、教会長を目指していきたく思います。また、来年一月からは、教祖百四十年祭に向けての三年千日が始まります。こういった

期間に動けば動くほど、腹をくくればくくるほど、ご守護を頂けると聞いております。教会長として、まだ大きな一歩は踏み出せませんが、「人に好かれれば、神に好かれる」という事ですので、自分のほこりを見直し、毎日のご守護に感謝し、日々成人させて頂きたいと思えます。そして、百四十年祭には、教祖のひながたに沿った教会、教会長をお見せすることができるようつとめてまいります。

## 西遠支部

七月二十三日、浜松市社会福祉事業団三十周年記念式典が行われ、その中で、市内の個人・団体八組の功労者表彰されました。当支部では、平成二十五年より、浜松市発達医療総合福祉センター

「友愛のさと」を会場に、「全教一斉ひのきしんデー」を開催し、除草作業などのお手伝いをさせて頂いていますが、約十年に亘る活動に対しての謝意を頂いたものです。残念ながら、ここ三年は、コロナ禍によって、従来のようなひのきしんが出来ない状況が続いていますが、また大勢の方々にお集まり頂いてのひのきしんデーの再開を楽しみに、社会からの期待にもお応えできるよう、努めさせて頂きたいと思えます。

\*当日は、支部長ほか数名で記念式典に参加をさせて頂く予定でしたが、感染急拡大のため、式典の規模が縮小されましたので、支部を代表して、木船嘉弘支部ひんきしん部長が出席し、感謝状を頂きました。

## 感謝状

天理教西遠支部様

貴団体は永年にわたり当事業団の環境整備にご協力され多大なる貢献をされました。よって当事業団設立三十周年にあたりその努力と功績を称え感謝の意を表します  
令和四年七月二十三日  
社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団  
理事長 伊熊規行